



山梨県 桃の会 会報第34号

出会う、つながる、わかちあう 2017年7月発行

お問い合わせ

TEL/FAX/☎

0554-66-4073

090-6190-8677

篠原 博子

梅雨、本番です。アジサイの花が色鮮やかに咲いています。雨の多い暗くジメジメとした季節に、「パーッ」と明るさを投げかけてくれるような気がします。

ひたすらに、咲いて、咲いて、私たちに生きる力を与えてくれているのでしょうか。



7月 月例会

KHJ 京都オレンジの会・山田孝明さんのお話

「20年以上にわたって若者の居場所を作り続けた思いと、心に残る出会い」

〈日 時〉 7月16日(日) 13:30~16:30

〈場 所〉 山梨県福祉プラザ 4F 会議室

〈参加費〉 一家族 1,000円(当事者は無料)

〈内 容〉 若者とひたすら向き合い続けた日々行動と実践を語ります。

☆ トランプマジックあり

*プロフィール 1994年京都東山に若者の居場所ライフアートを設立。京都、大阪、神戸、名古屋に、家族会「オレンジの会」を立ち上げる。KHJ 全国家族会の設立に参加。現在は「イシス出版」を立ち上げ書籍を通して啓蒙を続けている。

[お話後グループトークをします]

《当事者スペース》

〈日時〉 7月16日(日) 13:30~16:30 パソコン室



《ミニグループトークの御案内》

〈日 時〉 7月23日(日) 10:00~12:00 山梨県福祉プラザ 4F 会議室

「沢山話したい方、お気軽にどうぞ!」お待ちしております。

※ 参加費は無料です

●ピア Voice

「見えないものを見る」

私たちの心の内面を目で確かめることも、手で触れることも出来ない。感じる、想像する世界である。

息子が20年近くお世話になった病院の先生の口ぐせは、「見ようとしなければ見えない」だった。その言葉は、周りの人のみならず、専門家である自分自身をいつも戒めているかのようにも思えた。見えないものほど、本質的な深い意味を持ち、大事にされなくてはならない。

「一歩踏み出さない」のではなく、「一歩踏み出せない」、「話さない」のではなく、「話せない」のではないか。その背景にはその意味が隠されているだろう。

20年、30年の親子関係の中で、親の、完璧な子育てはあり得ない。

しかし、自分の子供が投げかけているメッセージを、今一度心の目を大きく開いて、素直に謙虚に受け止めてみてはどうだろうか。

(篠原)

☆ピアサポート（個別家族支援）を行っています。

「つながり」は家族の孤立を防ぎます。

まず、第三者の風を!!!

＊ミニトーク＊

6月24日(土) 10:00~12:00

暑い中9名の方にお集まり頂きました。

今回は親としてと言うより人間としての自分自身について考えてみました。子供に「自分らしく生きよ!」と言っている自分は、果たして自分らしく生きてきたのか…?

自分の生きた道を振り返り、しばし自分と向き合った時間でした。それぞれの環境の中で、皆さんが様々な生きてこられた様子、今まで知り得なかったことが沢山ありました。自分の振り返りと共に、お互いを知る機会にもなりました。

(S)

✿当事者スペースの報告✿

2017年6月18日(日)

- 時間 午後1時30分～4時30分
- 場所 福祉プラザ1階PC(パソコン)室
- 参加当事者・経験者(4名)
- 支援者(1名)中村さん(臨床心理士、元当事者)
- 関係者(1名)
- スペースにおける内容
 - ・ひきこもり関連イベントの参加報告
 - ・グループトーク(食べるものと健康、生きづらさについて等)
 - ・悩みについて話し合う
- 感じたこと

今回はじっくり話し合ってみましたが、自分の知らなかったことなどを聞くことができました。

(報告者 米長)

居場所情報

はじめの一步



【農園でギャザリングしよう!】

- ◆市民農園・・・・・・・・・・1区画55㎡(約17坪)、1年間6,000円
 - ◎ 場所: 甲府市七沢町 友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか?
- ◆ボランティア・・・・・・・・・・主に果樹の畑に関わる作業
- ◆みくさのみたから・・・・・・・・・・ストレスなどで凝り固まった心身を解放するワークです。
 - ◎ 7月24日(月) 13:30～15:30 山梨カトリック福祉センター(甲府市小瀬町654)
- ◆申し込み・問い合わせ・・・・相良(さがら)農園 055-243-0261

〈すみれ会・7月の予定〉

- ◇ 月例会 ・7月15日(土) 13:30～
 - ☆ ひきこもりから出た当事者。親の接し方を学ぶ。
- ◇ 当事者会 ・7月17日(月・祭) 13:30～

場所: すみれ会事務所〈お問い合わせ〉090-5416-8748(清水)





6月月例会報告

6月18日(日) 13:30~16:30

今回の定例会はNHK厚生文化事業団製作による〈ひきこもりからの回復〉我が子が引きこもったとき ~家族の役割と支援~ というDVDをみんなで鑑賞しました。

皆真剣にメモを取ったりしながら見入っていました。その中で私が感じたことは、出演された当事者の十年間で家族が息子のために心がけたことは、【家を安心安全な場所】にと母親が努めた。この場面が心に残りました。あとは、「対話がないと家族関係を構築しにくいので、対話の回路を閉じない」「対話の始まりはまずあいさつから」「返事がなくてもやり続けることに意味がある」「家族間で対話を絶やさない」「上から目線に留まっている限り意味のあるキャッチボールは成立しにくい」これは大事なことだと思いました。共感を持って寄り添うこともポイントであり、息子の変化を見逃さず次につなげたこともすごいな—と思いました。



Q&Aで

「医療へのつなぎ方」

「おこづかいの金額は？」

「家庭内暴力の対応のポイント」

などを詳しく解説されていて参考になりました。

DVD鑑賞後はグループで話し合いました。最後に皆の話を共有した中で一番大事なことは「子供との信頼関係」「子供の生きづら性感性を受け止める」「親は演説しない」などの話を共有しました。子供の言っている事が「少し違うな」「おかしいな」という思いがあっても「そうなんだ」と受け止めてみる事が大事であることを確認できました。

あっという間に時間がたってしまいました。

ひきこもりからの回復とは、必ずしも社会に繋がる事だけではなく、本人が自分らしく納得した人生を歩むこと」が大事なことと思います。

(K,K)

~今後の活動予定~

- H29年8月・12日(土) または 13日(日) 運営委員会 10:00~12:00
- ・12日(土) または 13日(日) 学習会 13:00~
 - ・19日(土) 月例会 13:30~16:30
 - ・27日(日) ミニトーク 10:00~12:00

場所・日程が変更になることがあります

※御礼

年会費を振り込み用紙にてお振込みいただいた方々に御礼申し上げます。

大事にお預かりいたします。

運営委員一同